威風堂々

西崎中学校
校長 宮城 義隆

父母の皆さんありがとう！
～PTA作業＆整備委員清掃～

十月五日(日)、PTA作業を実施しました。この日は保護者約四十名と三年職員等で、主にグラウンド東側と学校周辺の歩道に係る部分の草刈りを行いました。当日は三十三度の猛暑の中、作業をしました。終了後に担当の新垣賢作教諭から一日頃、学校職員と生徒だけでは手の回らない部分を綺麗にしていただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。」とお礼の言葉がありました。また生徒サポート部長の長嶺さんからも感謝の言葉がありました。

後日、西中の環境整備委員会の皆さんが、不十分だったところを丁寧に片づけてくれました。これで子どもたちは気持ちよく登下校をすることができます。保護者の皆さん、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

力強く、華麗に舞う！

十月六日(月)、糸満大綱引きの道ズネーで西川町のメンバーとして、小谷一隼さん、西平友琉さん、大城結衣菜さん、大城隆之介さん、大城芽生さん、山城千和さん、玉城莉々佳さん、山元琥珀さん、針田裕志さんがエイサーを披露しました。スタート時は激しい雨もありましたが、会場は大いに盛り上がりました。他にも旗頭等で西中生が参加しています。参加した皆さん、本当にお疲れさまでした。

なかなか深いいね～
～掲示物紹介その①～

先日、校舎内を回っていたときに目にした掲示物です。私の心に刺さりました。掲示してくれた生徒及び先生方、ありがとうございます。生徒の皆さんは何か感じましたか？

校長の独り言㉒

教え子からもらった「宝物」

「先生、私、数学だけは頑張ったんだよ」

数年前、とある居酒屋でばったり再会したA子（教え子）の言葉である。A子は再会当時、年齢が30代で、大型ダンプカーのドライバーとして懸命に働いているとのことだった。

A子は中学時代、絵に描いたようなやんちゃな子だった。飲酒、喫煙、家出、不純異性交遊など、ありとあらゆる問題行動を繰り返し、文字通り手に負えない生徒だった。当時、初めての生徒指導主任を任されていた私は、ことあるごとにA子の指導をしていたが全く効果が表れず、頭を痛めていたと同時に自信を失っていた。「いったいどうすればA子は良くなるんだろう。俺に生徒指導は無理なんじゃないか」私の心は無力感に苛まれていた。

A子とは数学の授業でも関わっていた。能力は高いが学習意欲は低く居眠りやおしゃべりの場面が多かった。それでもたまに授業を集中して受けることがあり、その度に彼女ができたところを褒めた。実際に計算力や数学的なセンスが良く、「A子、君は数学のセンスが良い。この力を使わないともったいないぞ！」と彼女に伝えたことを覚えている。

冒頭の居酒屋で、A子は「先生は、私のことを数学ができるって認めて褒めてくれた。だから私は定時制の高校に進学した後も数学だけは頑張ったんだよ。それがいろいろな資格を取ることに役立ったんだ。先生、ありがとう。」と続けた。私は思わず胸が詰まった。A子のその言葉は、中学時代に彼女を立ち直らせることができず、自責の念にかられていた私を救ってくれた。私は今でもその言葉を「宝物」として、心の中に大切にしまっている…

すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして